

2022年度
(令和4年度)

佐 賀 大 学
入 学 者 選 拔 要 項

(拔 粹 版)

IV 募 集 人 員
V 出 願 資 格
VI 選 拔 方 法

佐 賀 大 学

IV 募集人員

募集人員等 学部、学科・課程等名			入学 定員	募 集 人 員								備 考
				一般選抜		特 別 入 試						
				前期 日程	後期 日程	学校推薦型 選抜Ⅰ (大学入学共 通テストを 課さない)	学校推薦型 選抜Ⅱ (大学入学 共通テスト を課す)	総合選抜Ⅰ (大学入学共 通テストを 課さない)	総合選抜Ⅱ (大学入学 共通テスト を課す)	佐賀県 推薦入学	帰国 子女	
学校教育課程	幼小連携 教育コース	幼小発達教育専攻	25	15	5	-	-	-	-	-	-	○初等教育主免専攻の学校推薦型選抜における募集人員7人は、佐賀県枠で募集します。 ○幼小連携教育コース(学校推薦型選抜は除きます。)は、入学後それぞれの専攻に分かれます。
		特別支援教育専攻				5	-	-	-	-	-	
	小中連携 教育コース	初等教育主免専攻	70	41	12	7	-	10	-	-	-	
		中等教育主免専攻	25	12	5	-	-	8	-	-	-	
小計			120	68	22	12	-	18	-	-	-	
芸術地域デザイン学部	芸術表現 コース	美術・工芸分野	55	30	10	-	-	5	-	-	-	○芸術表現コース(一般選抜)及び地域デザインコースは、入学して1年後にそれぞれの分野に分かれます。 ○芸術表現コース(特別入試)は、入学して1年後に出願時に選択した分野に分かれます。
		有田セラミック分野				5	-	-	-	-		
	地域 デザイン コース	地域コンテンツデザイン分野	55	25	15	-	-	15	-	-	-	
		キュレーション分野				-	-	-	-	-		
小計			110	55	25	5	-	25	-	-	-	
経済学部	経済学		110	70	20	20	-	-	-	-	-	○一般選抜は、3学科の中から順位を付けて第3志望まで志望できます。
	経営学		80	30	20	30	-	-	-	-	-	
	経済法		70	35	25	10	-	-	-	-	-	
	小計			260	135	65	60	-	-	-	-	
医学部	医 学 科		*103	50	10	-	39	-	-	4	若干人	○医学科の学校推薦型選抜における募集人員39人は、一般枠20人、佐賀県枠18人、長崎県枠1人となります。
	看護学		60	35	5	20	-	-	-	-	若干人	
	小計			163	85	15	20	39	-	4	-	
理工学部	工学	数理サイエンスコース	480	269	90	-	-	5	2	-	-	○入学して1年後にそれぞれのコースに分かれます。2年次のコース配属は、本人の希望と1年次の成績により行います。ただし、特別入試で生命化学コース又は応用化学コースを希望した者は、入学時に2年次からの配属コースが決定します。
		知能情報システム工学コース				2	8	7				
		情報ネットワーク工学コース				-	-	-				
		生命化学コース				2	5	15				
		応用化学コース				-	7	3				
		物理学コース				-	10	10				
		機械エネルギー工学コース				4	5	12				
		メカニカルデザインコース				4	4	12				
		電気エネルギー工学コース				4	-	-				
		電子デバイス工学コース				4	-	-				
都市基盤工学コース	4	-	-									
建築環境デザインコース	4	-	-									
小計			480	269	90	16	-	44	61	-		
農学部	生物資源科学科	生物科学コース	145	77	32	3	-	10	-	-	○生物資源科学科の一般選抜は入学して1年後にそれぞれのコースに分かれます。	
		食資源環境科学コース				2	-	5				
		生命機能科学コース				1	-	10				
		国際・地域マネジメントコース				-	5	-				
小計			145	77	32	6	-	5	25	-		
合 計			1,278	689	249	119	39	92	86	4	-	

(備考) 後期日程の募集人員には、帰国子女特別入試及び社会人特別入試の募集人員(若干人)を含みます。

*医学科の入学定員103人は、「経済財政運営と改革の基本方針2019」に基づく臨時定員(地域枠)の増員が認可された場合の人数(5人)を含むものであり、現時点において確定した人数ではありません。確定次第、ホームページでお知らせします。

V 出願資格

本学へ出願できる者は、次のいずれかに該当する者となります。

1 一般選抜

- ① 高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」といいます。）を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2022年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者

学校教育法施行規則

第150条 学校教育法第90条第1項の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 1 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 3 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 4 文部科学大臣の指定した者
- 5 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定（以下「旧検定」という。）に合格した者を含む。）
- 6 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であつて、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 7 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

（注）同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行います。

※申請期間及び申請書類の送付先等

本学の個別の入学資格審査により、入学資格の認定を受けようとする者は、2021年8月20日（金）までに申請するものとします。

ただし、他大学において入学資格の認定を受け、2022年度（令和4年度）大学入学共通テストに出願し、受理された者については、2022年1月13日（木）までに申請するものとします。

申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし封筒表面に「大学入学資格認定書交付申請」と朱書し、本学入試課に送付してください。

2 特別入試及び私費外国人留学生入試

34ページから52ページを参照してください。

VI 選抜方法

入学者の選抜は、一般選抜及び特別入試並びに私費外国人留学生入試により行います。
本学では、大学入学共通テストの過年度成績は利用しません。

一般選抜

- (1) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績、調査書の内容を総合的に判断し、合格者を決定します。
大学入学共通テスト及び個別学力検査等において、受験が必要な教科・科目は27、28ページに記載しています。なお、指定した教科・科目を1つでも受験しなかった者は、失格とします。
医学部医学科においては、入学志願者が、募集人員を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合（前期日程は募集人員の約5倍、後期日程は約10倍）に、2段階選抜を実施します。
- (2) 採点・評価基準、合否判定基準は、募集要項に掲載します。
- (3) 後期日程入学手続締切期日（2022年3月26日(土)）までに入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、原則として追加合格者を決定し補充しますが、欠員補充第2次募集を行うこともあります。
- (4) 追加合格者の決定は2022年3月28日(月)から開始し、実施の有無については、3月28日(月)に本学ホームページでお知らせします。
- (5) 追加合格者には、電話連絡により入学の意志を確認し、3月31日(木)を入学手続締切日とします。

定員補充について

特別入試の合格者数（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、以下の入試で不足分の合格者を補充します。

- 教育学部、芸術地域デザイン学部、経済学部、医学部（看護学科）
特別入試のすべて → 一般選抜（前期日程）
- 医学部
学校推薦型選抜Ⅱ（医学科） → 一般選抜（後期日程）
- 理工学部
学校推薦型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅰ → 総合型選抜Ⅱ
総合型選抜Ⅱ → 一般選抜（前期日程）
- 農学部
学校推薦型選抜Ⅰ → 総合型選抜Ⅱ
総合型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅱ → 一般選抜（前期日程）

特別入試及び私費外国人留学生入試

34ページから52ページを参照してください。

一般選拔

日程	学科・課程等	個別試験																	特色 加点	配点 比率	備考										
		外国語				国語		数学					理科				満点	教科 数													
		コ 英 I	コ 英 II	コ 英 III	英語 表現 I	英語 表現 II	国語 総合	国語 表現	数学 I	数学 II	数学 III	数学 A	数学 B	物理 基礎・ 物理	化学 基礎・ 化学	生物 基礎・ 生物						地学 基礎・ 地学	総合 問題	小 論文	実 技	面 接	調 査 書	そ の 他			
前期	幼小連携教育コース	○	○	○	○	○	△	△	△	△		△	△													400	2	☆	9:4	前期日程の教育学部は「英語」必須。 「国語」、「数学」は1科目または2科目選択可。 「国語」と「数学」の2科目を受験した場合は 高得点科目を採用	
		200				(200)		(200)																							
	小中連携教育コース 初等教育主免専攻	地歴・公民 2科目型	○	○	○	○	○	△	△	△	△		△	△												400	2	☆	9:4		
		理科 2科目型	○	○	○	○	○	△	△	△	△		△	△											400	2	☆	9:4			
	中等教育主免専攻	地歴・公民 2科目型	○	○	○	○	○	△	△	△	△		△	△											400	2	☆	9:4			
		理科 2科目型	○	○	○	○	○	△	△	△	△		△	△											400	2	☆	9:4			
	芸術表現コース	3科目型																		○					500			5:5	実技試験は描写表現3つから選択 (31ページ参照)		
		4科目型																		○					400			6:4	実技試験は発想表現必須 (31ページ参照)		
	地域デザインコース																		○					400		☆	7:4	総合問題については31ページ			
	経済学科 経営学科 経済法学科		○	○	○	○	○																		100	1	☆	7:1			
	医学科		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○					○	○			400	3		63:40			
	看護学科																		○	○	○			260			65:26				
理工学科								○	○	○	○	○	○	○									600	2	☆	9:6					
生物資源科学科		○	○	○	○	○			○	○		○	○											400	2	☆	6:4				
後期	学校教育課程 幼小連携教育コース	○	○	○	○	○													○					400	1	☆	10:4				
		200																													
	学校教育課程 小中連携教育コース 初等教育主免専攻	○	○	○	○	○													○					400	1	☆	10:4				
		200																													
	学校教育課程 小中連携教育コース 中等教育主免専攻	○	○	○	○	○													○					400	1	☆	10:4				
		200																													
	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース																			○					300			5:3	実技は描写・発想表現から1 (31ページ参照)		
	芸術地域デザイン学科 地域デザインコース	○	○	○	○	○																○		300	1	☆	6:3	その他は問題解決・ 提案力テスト(31ページ参照)			
		100																													
	経済学科 経営学科 経済法学科																			○					100		☆	7:1			
	医学科																			○	○				280			63:28			
	看護学科																			○	○				280			59:28			
																			○	○				180			180:100				
理工学科								△	△	△	△	△	△	△									400	1	☆	6:4	「数学」、「物理」、「化学」から1科目または2科目 選択。2科目受験した場合は高得点科目を採用。 ただし「物理」と「化学」の2科目選択は不可。				
							(400)					(400)																			
生物資源科学科								○	○		○	○												200	1	☆	55:20				
							200																								

☆「特色加点」の内容については30ページを参照

2 英語外部検定試験の一般選抜での利用について

積極的に英語の技能を活用し、主体的に考えを表現することができる学生を求めるとともに、英語のコミュニケーション能力を適切に評価するため、英語外部検定試験の結果を一般選抜（前期日程及び後期日程）に利用できます。

(1) 利用できる検定試験（4技能受験が必須）

- ① 実用英語技能検定（英検 CSE スコア2.0 英検 CBT, 英検 S-CBT, 英検 S-Interview, 英検（従来型）全て含む）
- ② TEAP（4技能）
- ③ GTEC（4技能） Advanced, Basic, CBT タイプ（オフィシャルスコアに限る）
- ④ TOEFL iBT

(2) 利用方法

- 検定試験の成績を換算表に基づき、大学入学共通テスト（英語）の得点に換算し、大学入学共通テスト（英語）の成績とみなして合否判定に利用します。
- 検定試験の換算点が、大学入学共通テスト（英語）の得点より高い場合に、検定試験の換算点を採用します。

(3) 換算表

実用英語技能検定	TEAP	GTEC(4技能)	TOEFL iBT	共通テスト(英語)得点率
2,250以上	270以上	1,100以上	61以上	90%
2,150～2,249	235～269	1,000～1,099	52～60	80%
2,050～2,149	220～234	900～999	45～51	70%
2,049以下	219以下	899以下	44以下	対象外

(4) 申請方法

- インターネット出願登録時に検定試験の種別及び受検情報を登録してください。
- 申請できる検定試験の成績は1件です。また、有効となる検定試験は、2020年4月1日以降に受検した検定試験に限ります。
- インターネット出願登録時に検定試験の登録がない場合や出願期間内に成績証明書（写しを含む）が提出されなかった場合は利用できません。
- インターネット出願登録時に誤った情報を登録した場合には利用できない場合があります。
- インターネット出願時の入力及び提出書類
 - ① 実用英語技能検定

インターネット出願登録時に実用英語技能検定の受験情報【個人番号、年度、受験回、試験成績】を入力してください。また、成績証明書(写し可)を提出してください。なお、受験した級が不合格の場合でも CSE スコアが2,050点以上の得点であれば利用できます。

証明書サンプル
https://www.eiken.or.jp/eiken/result/img_sample_01.html

https://www.eiken.or.jp/eiken/result/img_sample_03.html

② TEAP

インターネット出願登録時に TEAP の受験情報【Registration ID, 受験年度, TEAP スコア】を入力してください。また, 成績証明書(写し可)を提出してください。

証明書サンプル

<https://www.eiken.or.jp/teap/result/>

③ GTEC (Advanced, Basic タイプ)

インターネット出願時に GTEC (Advanced, Basic タイプ) の受験情報【成績番号※, GTEC スコア】を入力してください。ベネッセコーポレーションのマナビジョン(URL : <https://manabi.benesse.ne.jp/>) または「大学入試成績連携システム」専用サイト (URL : <https://benesse-exam.benesse.ne.jp/exam/login/>) から受験した GTEC の「成績番号」を請求してください。付与された「成績番号」をインターネット出願登録画面の【個人番号】欄に入力してください。また, 成績証明書裏面の成績番号貼付欄に「成績番号」を貼付し成績証明書(写し可)を提出してください。(写しを提出する場合には必ず両面印刷して提出してください。)

※スコアレポートに表示している「EA」から始まる9桁の英数字です。

証明書サンプル

<https://www.benesse.co.jp/gtec/fs/schoolofficials/officialscore.html>

成績番号の請求方法

<https://www.benesse.co.jp/gtec/fs/gradenumber/>

④ GTEC (CBT タイプ)

インターネット出願時に GTEC (CBT タイプ) の受験情報【Test ID※, GTEC スコア】を入力してください。また, 成績証明書(写し可)を提出してください。

※スコアレポートに表示している「GT」から始まる9桁の英数字です。

証明書サンプル

<https://www.benesse.co.jp/gtec/fs/schoolofficials/officialscore.html>

⑤ TOEFL iBT

成績証明書(原本)を提出してください。

3 特色加点制度について

「特色加点」とは, 一般選抜における任意提出の書類審査です。大学入学共通テスト, 個別試験の合計点(以下, 「当初配点」という。)とは別に, 加点枠を設けます。志願者の申請を原則とし, 申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。

志願者が取り組んできた活動を中心に, そこで培ったスキルや経験等が, 大学入学後の学習や活動にどのように生かせるかを申請してください。申請する活動や実績は, 主体的に取り組んだものであれば分野等は問いません。

評価については, 「全国大会△位入賞は〇点」といった採点ではなく, アドミッション・ポリシーの観点から定性的かつ総合的に評価します。したがって, 志望学部 of の学びを理解し, 入学後の学習や活動に何を生かせるかをしっかり考えてアピールしてください。アドミッション・ポリシーや入学後の学習との繋がりがまったく見えない申請内容は, 加点の対象になりません。また, 申請内容を補完する根拠となる資料等も重要です。

取り組みの具体例として, 研究活動(探究型学習, 課題研究, 各種教育プログラムなど), 課外活動(部活動や生徒会活動など), 社会活動(ボランティア, 地域活動など), 資格・検定取得,

コンテスト等の実績，海外留学経験，その他主体的な活動などが考えられます。

「特色加点」として申請できる取り組みの内容は，高等学校入学以降（あるいは中学校卒業以降）のものとし，過年度卒業者は卒業後の取り組みでも申請可能です。

【合否判定について】

大学入学共通テスト及び個別学力検査（個別試験）の成績，並びに「特色加点」により合格者を決定します。合否判定は以下の手順で実施します。

- (1) 芸術地域デザイン学部（地域デザインコース），経済学部，理工学部の取扱い
 - ① 大学入学共通テスト得点と個別試験得点を合計した成績上位者において，「特色加点」の配点により合格の可能性が生じる受験者までを「1次選考適格者」とします。
 - ② 「2次選考」は，1次選考適格者に対し，大学入学共通テスト得点と個別試験得点の合計点に，「特色加点」内容の採点結果を加えた総合得点にて合否判定を行います。その際，「特色加点」分を加えなくても合格基準点を上回る受験者に対しては「2次選考」を免除し，合格者として扱います。
 - ③ 「特色加点」を申請しなかった場合は，「特色加点」分は0点として扱います。
※合否結果の通知は最終結果のみとし，1次選考・2次選考別には行いません。
- (2) 教育学部，農学部の取扱い
 - ① 個別学力検査を受験した申請者全員を採点し，合否判定を行います。
 - ② 「特色加点」を申請しなかった場合は，「特色加点」分は0点として扱います。

4 2022年度個別学力検査等の出題範囲及び試験方法について

- (1) 数学

数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Aは全範囲から出題します。数学Bは「数列」，「ベクトル」を出題範囲とします。
- (2) 総合問題

文章（英文を含む）や資料（図表，写真，絵，地図など）を題材に，読解力，論理的思考力，分析力，考察力を問います。
- (3) 問題解決・提案力テスト

地域や社会に関する課題や事象に対する解決策や提案を，文章や図表，絵などにより，解答用紙に簡潔にまとめたものについて，企画力，発想力，表現力等を含む問題解決能力及び提案力を総合的に評価します。
筆記用具については募集要項に掲載します。

5 芸術地域デザイン学部芸術表現コース実技検査の選択方法について

- (1) 前期日程

出願時に「3科目型」を選択した受験者には実技検査（描写表現），「4科目型」を選択した受験者には実技検査（発想表現）を課します。実技検査（描写表現）では，1)～3)のいずれ

れかを出願時に選択します。出願後の変更はできません。

実技検査（描写表現）

- 1) 木炭による石膏デッサン 2) 鉛筆による石膏デッサン 3) 水彩による静物着彩

実技検査（発想表現）

プレゼンテーションボードの作成

持参道具については、募集要項に掲載します。

(2) 後期日程

出願時に1)～4)のいずれかを選択します。出願後の変更はできません。

実技検査（描写表現）

- 1) 木炭による石膏デッサン 2) 鉛筆による石膏デッサン 3) 水彩による静物着彩
実技検査（発想表現）

4) プレゼンテーションボードの作成

持参道具については、募集要項に掲載します。

6 2022年度（令和4年度）大学入学共通テストの科目選択及び得点の取扱い等について

(1) 地歴・公民

- 1) 学部・学科等が受験科目を1科目と指定している場合に2科目受験した場合の取扱いについては、「第1解答科目」の得点を採用します。

学部・学科等が指定した科目は、必ず「第1解答科目」で受験してください。

- 2) 学部・学科等が指定する科目を「第1解答科目」で受験せず、「第2解答科目」で受験した場合は、0点として取扱います。

なお、受験が認められていない同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択した際に、「第1解答科目」を学部・学科等が指定していない科目を受験し、「第2解答科目」で受験した場合は、無資格として取扱い、検定料の一部を返還します。

*参考（取扱い例）

地歴・公民の指定科目	第1解答科目 の受験科目	第2解答科目 の受験科目	得点の取扱い
世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1	世B	地理A	第1解答科目の「世B」を採用
	地理A	世B	地歴・公民の得点は0点
	世A	世B	無資格とします。

(2) 理科

- 1) 「基礎を付した科目」とは、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4出題科目のうちから2出題科目を選択することを表します。

- 2) 「基礎を付していない科目」とは、「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」を表します。

- 3) 学部・学科等が「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」から2科目と指定する場合に「物理」と「物理基礎」など、同一名称を付した科目を選択することはできません。

- 4) 学部・学科等が受験科目を1科目と指定している場合に「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点を採用します。また、「基礎を付した科目」及び

「基礎を付していない科目」を受験した場合は、高得点を採用します。

(3) 数学

- 1) 学部・学科等が受験科目を1科目と指定している場合に2科目受験した場合は、高得点の科目を採用します。
- 2) 医学部、理工学部、農学部については、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

(4) 複数教科・科目間の選択にかかる得点の取扱いについて（指定科目数を超えて受験している場合）

複数教科間の科目採用については、高得点順とします。ただし、地歴・公民及び理科（「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」を受験した場合を除く。）においては、「第1解答科目」を優先します。

(5) 外国語

外国語において英語を選択した者については、リスニングが必須となり、欠席した場合は、失格となります。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者については、リーディング（100点満点）の得点を合計欄の点数に換算し利用します。

リーディング（100点満点）、リスニング（100点満点）の配点は、下表のとおりです。

学部等	日程	リーディング	リスニング	合計
教育学部	前後 期期	150点	50点	200点
芸術地域デザイン学部	前後 期期	150点	50点	200点
経済学部	前後 期期	150点	50点	200点
医学部	前後 期期	105点	35点	140点
	学校推薦型選抜Ⅱ 佐賀県推薦	120点	40点	160点
理工学部	前 期	150点	50点	200点
	後 期	112.5点	37.5点	150点
	総合型選抜Ⅱ	187.5点	62.5点	250点
農学部	前後 期期	75点	25点	100点
	生物科学コース 生命機能科学コース 食資源環境科学コース	総合型選抜Ⅱ	150点	50点

特 別 入 試

1 2022年度特別入試（学校推薦型選抜Ⅰ）出願資格・選抜方法〔教育，芸術，経済〕

出願資格・出願要件（全学部）											
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を2022年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校の高等部を2022年3月卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2022年3月修了見込みの者 (4) 高等学校長（※）が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は確実に入学できる者 ※ 高等学校長とは上記(1)～(3)の学校長を示す											
学部	学科・コース等	方式	募集人員	共テ	出願要件	提出書類	段階	試験			
								試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
教育学部	幼小連携教育コース 特別支援教育専攻 学校推薦型選抜Ⅰ	学校推薦型選抜Ⅰ	5	×	(1) 将来、特別支援学校や小・中学校等で特別支援教育の仕事に携わる教員になることを強く志望する者 (2) 高等学校の調査書における学習成績の状況が3.8以上の者	調査書、推薦書		基礎学力試験（外国語）、小論文、面接	11/27	12/6	
	初等教育士専攻 小中連携教育コース 学校推薦型選抜Ⅰ [佐賀県枠]	学校推薦型選抜Ⅰ [佐賀県枠]	7	×	(1) 佐賀県内の高等学校を2022年3月に卒業見込みの者 (2) 将来、佐賀県下の小学校教員として活躍を期待するに十分な意欲、資質、適性等を有する者 (3) 高等学校の調査書における学習成績の状況が4.3以上の者	調査書、推薦書、志望理由書	1次	佐賀県教育委員会による書類審査	11/1～11/5	—	11/18頃
芸術地域デザイン学部	有田セラミック分野 芸術表現コース 芸術地域デザイン学科	学校推薦型選抜Ⅰ	5	×	学業成績、人物ともに特に優れ、芸術表現や当該分野に関して興味関心がある者、又は優れた経験・知識・技術・実績及び熱意がある者	調査書、推薦書、ポートフォリオ		面接（口頭試問を含む）、実技検査	11/1～11/5	12/10	12/20
経済学部	経済学科	学校推薦型選抜Ⅰ [商業系]	10	×	(1) 全体の学習成績の状況が4.3以上の者で、人物、学力について優れる者 (2) 2021年度中に高等学校の卒業を認められた者を含む						
	経営学科		20								
	経済学科	学校推薦型選抜Ⅰ [普通系]	10	×	(1) 社会科学にとりわけ関心があり、かつ、人物について優れ全体の学習成績の状況が4.0以上の者 ただし、次のうちいずれかの要件を満たす者 ①成績優秀な者（外国語については学習成績の状況4.3以上） ②社会事象についての分析や、社会的活動等において優れた実績があり、それを裏付ける資料のある者 ③個性的で積極性に富み、高等学校長が、大学生活においてその能力を十分に発揮できると評価し、推薦に値すると思われる者 (2) 2021年度中に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、志望理由書、活動実績報告書(加点式)(任意)		基礎学力・学習力テスト、小論文、面接（口頭試問を含む）(※)	11/1～11/5	11/26	12/6
	経営学科		10								
経済法学科			10								

※出願要件の「高等学校」とは出願資格・出願要件（全学部）に記載した学校及び施設を示す。

※「共テ」とは大学入学共通テストを示す。

※2022年度は面接をバーバインタビューによって代替することがあります。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 調査書・推薦書の評価基準 学業成績、修学状況、部活動、社会活動等を見ます。</p> <p>(2) 小論文の評価基準 出題されたテーマに対して、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力を見ます。</p> <p>(3) 基礎学力試験の評価基準 高等学校の教科書程度の内容が十分理解できているかを、基礎的な問題によって評価します。</p> <p>(4) 面接の評価基準 勉学意欲、特別支援教育への興味・関心等を見ます。</p> <p>(5) 合否判定基準 書類（調査書及び推薦書）、小論文、基礎学力試験、面接の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・外国語はコミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ</p>
<p>(1) 調査書等の評価基準 学業成績が優秀かどうか、教職を目指す強い意志を持ち、教員になるための基礎的な資質、能力を兼ね備えているかを、調査書、推薦書、志望理由書等により評価します。</p> <p>(2) 小論文の評価基準 資料を提示してそれについて論述式の試験を行うことにより、文章理解力、資料の内容に関する知識、論理的な思考力、文章構成力、表現力を評価します。</p> <p>(3) 面接の評価基準 志望動機、学習意欲、積極性、コミュニケーション能力について評価し、将来小学校教員になるための適性を備えているかを判断します。</p> <p>(4) 基礎学力試験の評価基準 高等学校の教科書程度の内容が十分理解できているかを、基礎的な問題によって評価します。</p> <p>(5) 合否判定基準 基礎学力試験の成績、小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書、志願者の志望理由書を総合して、合格者を決定します。 佐賀県教育委員会による第1次選考（書類審査）を行い、その選考結果は、2021年11月18日（木）頃通知します。 第2次選考については、第1次選考合格者に対して小論文、面接及び基礎学力試験を行い、各成績評価と書類審査の評価を総合して合格者を決定します。</p>	<p>・外国語はコミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ</p> <p>・数学は数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数Bで数Bは数列・ベクトル</p>
<p>(1) 調査書、推薦書、ポートフォリオ（※）の採点・評価基準 調査書では「各教科、科目等の学習の記録」「学習成績の状況」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。また、推薦書とポートフォリオでは、活動実績と芸術表現に対する意欲を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。 ※ポートフォリオは活動実績や作品などをA4用紙で5ページ以内のファイルにまとめて提出してください。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 芸術表現を通して地域社会を考え、発想力、コミュニケーション能力等を有しているかを採点・評価基準とします。加えて、当該分野に関する口頭試問によって基礎的な知識や制作活動の経験を把握し、当該分野に関する意欲の高さを評価します。</p> <p>(3) 実技検査の採点・評価基準 自らの手による表現力、発想力など芸術表現に関わる基本的な能力を有しているかを採点・評価基準とします。 静物着彩では、基礎的な造形力に加え水彩絵具による表現力なども総合的に評価します。粘土による造形表現では、基礎的な造形力と表現力などを総合的に評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書及びポートフォリオ）、面接及び実技検査の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・実技検査 静物着彩・粘土による造形表現から1 粘土による造形表現は、試験時に手びねり又はロクロ成形を選択 ・入学志願者が募集人員の約4倍を超えた場合は、書類（調査書、推薦書及びポートフォリオ）による第1次選考を行う場合がある</p>
<p>(1) 調査書等の採点・評価基準 学習状況、クラブ活動等を見ます。</p> <p>(2) 活動実績報告書（加点式）の採点・評価基準（申請者のみ） アドミッション・ポリシーに応じて、これまでの活動・実績を評価します。</p> <p>(3) 小論文の採点・評価基準 資料を提示の上、それについての読解力、着眼力、思考力、文章表現力等を基準として評価します。</p> <p>(4) 基礎学力・学習力テスト 志望学部に必要な基礎学力・学習力を評価します。</p> <p>(5) 面接（※）の採点・評価基準 口頭試問により社会への関心及び将来の学習意欲や高校生活の活動状況等について、アドミッション・ポリシーの観点から総合的に評価します。</p> <p>(6) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書等）、小論文及び面接等の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・商業系（商業高等学校の全科を含む）・情報系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上）</p> <p>・活動実績報告書（加点式）について 「簿記」「情報」「英語」「商業経済」の4分野に関する資格・検定について、その難易度に応じて評価します。</p> <p>・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を図るテストを行います。</p> <p>・普通科又はこれに準ずると本学部が認める科</p> <p>・出願要件の②については証明する資料を添付</p> <p>・活動実績報告書（加点式）について 校内外を問わず、高等学校在学中に主体的に取り組んだ活動や実績について申請してください。校内活動としては、体育系・文化系の部活動、生徒会活動、課題研究（探究型学習）など、校外活動としては、社会活動（ボランティア、地域活動）、海外留学、スポーツ活動、文化・芸術活動、検定・資格取得、課題研究（探究型学習）などが該当します。なお、「課題研究（探究型学習）」に関する活動とは、校内外を問わず、高等学校在学中に取り組んだ課題研究（探究型学習）に関する活動です。高等学校の総合的な学習の時間等での課題研究（探究型学習）といった校内活動、大学（本学または他大学）による高校生対象の課題研究（探究型学習）や、国・地方公共団体・企業・大学等が実施する課題研究型コンテストへの出場（ビジネスプランコンテスト、まちづくりプランコンテスト、社会科学系の論文コンテスト等）といった校外活動が該当します。</p> <p>申請がなければ当初配点で合否判定を行います。</p> <p>・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を図るテストを行います。</p>

※2022年度は面接をペーパーインタビューによって代替することがあります。

2022年度特別入試（学校推薦型選抜Ⅰ）出願資格・選抜方法〔医，理工，農〕

出願資格・出願要件（全学部）												
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を2022年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校の高等部を2022年3月卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2022年3月修了見込みの者 (4) 高等学校長（※）が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は確実に入学できる者 ※ 高等学校長とは上記(1)～(3)の学校長を示す												
学部	学科・コース等		方式	募集人員	共テ	出願要件	提出書類	段階	試験			
									試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
医学部	看護学科		学校推薦型選抜Ⅰ	20	×	(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 将来、病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた看護職者あるいは看護学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者 (3) 2021年4月以降に高等学校卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、自己推薦書		小論文、面接	11/1 ～11/5	11/27	12/6
理工学部	理工学科	情報分野 知能情報システム工学コース 情報ネットワーク工学コース	学校推薦型選抜Ⅰ 〔情報系〕	2	×	専門系の科および総合学科を卒業見込みの者で学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価される者	調査書、推薦書、活動実績報告書		基礎学力・学習力テスト、小論文、面接（口頭試問を含む。）	11/1 ～11/5	11/26	12/6
	化学分野 生命化学コース 応用化学コース	学校推薦型選抜Ⅰ 〔工業系〕	2									
	機械工学分野 機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース	学校推薦型選抜Ⅰ 〔工業系〕	4									
	電気電子工学分野 電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース	学校推薦型選抜Ⅰ 〔工業系〕	4									
	都市工学分野 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース	学校推薦型選抜Ⅰ 〔工業系〕	4									
農学部	生物資源科学科	生物科学コース	学校推薦型選抜Ⅰ 〔専門系〕	3	×	(1) 専門系の科および総合学科を卒業見込みの者で学習成績、人物について優れ、自然科学に対する熱意と能力があると評価される者 (2) 学習成績概評が㊤として推薦できる者	調査書、推薦書、活動実績報告書		基礎学力・学習力テスト、小論文、面接	11/1 ～11/5	11/26	12/6
	食資源環境科学コース	学校推薦型選抜Ⅰ 〔専門系〕	2									
	生命機能科学コース	学校推薦型選抜Ⅰ 〔専門系〕	1									

※出願要件の「高等学校」とは出願資格・出願要件（全学部）に記載した学校及び施設を示す。

※「共テ」とは大学入学共通テストを示す。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる 良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決 しうる能力を評価します。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる 上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優 れた看護職者になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。</p> <p>(3) 調査書等の採点・評価基準 単に学業成績優秀というのみでなく、規則的な生活習慣を葆ち、学習意欲、積極性や協調性に富 んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価しま す。志願者本人による自己推薦書も同様に取り扱います。</p> <p>(4) 合否判定基準 小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書等を総合して合格者を決定します。 なお、面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。</p>	<p>・調査書の「4. 学習成績概評」欄に㉠と標示する場合は、「8. 備考」欄にその理由を必ず明記 ・推薦人数は各高校2人以内</p>
<p>(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「学習成績の状況」「出席状況」「特別活動の記 録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および理工学科の「求める学生像」か ら著しく逸脱していないかを確認します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容に ついて、「専門分野に対する強い興味・関心」、「主体的に学び続けようとする意欲と態度」、 「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可 能性」の3つの観点から総合的に評価します。</p> <p>(2) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、考察力、論理的思考力、表現力及び記述力を見ます。</p> <p>(3) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望分野に対する意欲等について、評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書、活動実績報告書等）、小論文及び面接等の各成績評価を総合して、合 格者を決定します。</p>	<p>・情報系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います</p>
<p>(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「学習成績の状況」「出席状況」「特別活動の記 録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および理工学科の「求める学生像」か ら著しく逸脱していないかを確認します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容に ついて、「専門分野に対する強い興味・関心」、「主体的に学び続けようとする意欲と態度」、 「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可 能性」の3つの観点から総合的に評価します。</p> <p>(2) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、考察力、論理的思考力、表現力及び記述力を見ます。</p> <p>(3) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望分野に対する意欲等について、評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書、活動実績報告書等）、小論文及び面接等の各成績評価を総合して、合 格者を決定します。</p>	<p>・工業系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います</p> <p>・機械系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います</p> <p>・電気・電子・情報系の科、総合学科の専門科目単位取得者 （20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います</p> <p>・土木・建築系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います</p>
<p>(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「学習成績の状況」「出席状況」「特別活動の記 録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および生物資源科学科の「求める学生 像」から著しく逸脱していないかを確認します。活動実績報告書では、申請された活動実績の 内容について、「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態 度」、「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化でき る可能性」の観点から評価します。</p> <p>(2) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、考察力、論理的思考力、表現力及び記述力を見ます。</p> <p>(3) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望コースに対する意欲等について、評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書、活動実績報告書等）、小論文及び面接等の各成績評価を総合して、合 格者を決定します。</p>	<p>・調査書の「8. 備考」欄に学習成績概評が㉠の理由を明記 ・専門系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・推薦人数は各高校の各課程から各コースに対し2人以内。ただし、 生命機能科学コースは1人 ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います</p>

2 2022年度特別入試（学校推薦型選抜Ⅱ）出願資格・選抜方法〔医〕

出願資格・出願要件（全学部）											
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を2022年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校の高等部を2022年3月卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2022年3月修了見込みの者 (4) 高等学校長（※）が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は確実に入学できる者 ※ 高等学校長とは上記(1)～(3)の学校長を示す											
学部・学科等	募集人員	方式	出願資格および出願要件	提出書類	評価基準	外国語					
						英語 リスニング リーディング	ドイツ語 リスニング	フランス語	中国語	韓国語	科目数
医学部 医学科	20	一般枠	(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 将来、病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた医師あるいは医学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者 (3) 2021年4月以降に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、自己推薦書	(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。 (2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。 (3) 調査書等の採点・評価基準 単に学業成績優秀というのみでなく、規則的な生活習慣を保ち、学習意欲、積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価します。志願者本人による自己推薦書も同様に取り扱いします。 (4) 合否判定基準 大学入学共通テストの成績、小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書等を総合して合格者を決定します。	英語 リスニング リーディング	ドイツ語 リスニング	フランス語	中国語	韓国語	1
			(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来、佐賀県内の医療活動に貢献したいという強い意思を有する者 (3) 高等学校を2022年3月に卒業見込みの者又は2020年4月以降に卒業を認められた者で、次のいずれかに該当する者 ①佐賀県内の高等学校を卒業又は卒業見込みの者 ②佐賀県外の高等学校を卒業又は卒業見込みの者のうち、佐賀県内の小学校、中学校のいずれかを卒業し、保護者が佐賀県内に2021年10月1日現在で3年以上継続して在住している者（出願手続時に住民票あるいは戸籍の附票で確認） (4) 大学卒業後は、佐賀県内の基幹型臨床研修病院において、初期臨床研修（2年）を受けることを確約できる者	調査書、推薦書、自己推薦書、志願理由書、確約書	(3) 調査書等の採点・評価基準 単に学業成績優秀というのみでなく、規則的な生活習慣を保ち、学習意欲、積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価します。志願者本人による自己推薦書も同様に取り扱いします。	160	一般枠と同じ				
			(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来、長崎県内の地域医療に貢献したいという強い意思を有する者 (3) 高等学校を2022年3月に卒業見込みの者又は2020年4月以降に卒業を認められた者で、次のいずれかに該当する者 ①長崎県内の小学校又は中学校を卒業した者 ②長崎県内の高等学校を卒業又は卒業見込みの者 (4) 入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受け、大学卒業後は長崎県が指定する長崎県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者 (5) 大学在学中に長崎県と契約を締結し、キャリア形成プログラムの適用を受け、新専門医制度における専門医選択について、原則として県指定基本領域（内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科及び総合診療科）からの選択を了承できる者	調査書、推薦書、自己推薦書、志願理由書、同意書	(4) 合否判定基準 大学入学共通テストの成績、小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書等を総合して合格者を決定します。 なお、大学入学共通テストの成績が本学部の基準を満たしていない場合、あるいは面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。	160	一般枠と同じ				
1	長崎県枠										

3 2022年度特別入試（佐賀県推薦入学）出願資格・選抜方法〔医〕

試験方法：大学入学共通テスト、小論文、面接、書類審査											
試験日：（1次）2021年11月13、14日、（2次）2021年11月27日											
出願期間：（1次）2021年11月1日～5日、（2次）2021年11月17日～22日											
合格発表日：（1次）2021年11月16日、（2次）2022年2月14日											
学部・学科等	募集人員	出願資格および出願要件	段階	提出書類	評価基準	外国語					
						英語 リスニング リーディング	ドイツ語 リスニング	フランス語	中国語	韓国語	科目数
医学部 医学科	4	(1) 佐賀県が責任をもって推薦できる者（佐賀県による第一次選考合格者） (2) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来、佐賀県内での医療活動に従事し、県民の健康と福祉の増進に寄与する医師となることを目指す者 (3) 高等学校を2022年3月に卒業見込みの者若しくは2019年4月以降に卒業を認められた者、又は、高等専門学校第3学年を2022年3月修了見込みの者若しくは2019年4月以降に修了した者で、いずれも高等学校等における調査書の学習成績概評がA段階に属する者（高等学校には、中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む） (4) 最終合格者は、必ず佐賀大学医学部に入学し、入学後は、「佐賀県医師修学資金」の貸与を6年間受けること及びキャリア形成プログラム（佐賀県が策定した医療法（昭和23年法律第205号）第30条の23第2項第1号に規定する計画）に同意することを確約できる者 (5) 大学卒業後は、キャリア形成プログラムに基づき、①高度急性期機能の需要増加に対処するための医師（内科、小児科、外科、産婦人科、脳神経外科、麻酔科及び救急科）、②総合的な診療能力を有する医師（総合内科及び総合診療科）等として佐賀県が指定する佐賀県内の医療機関で診療に従事することを確約できる者	1次	調査書、所信書、確約書	(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。 (2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。また、将来、佐賀県内での医療活動に従事し県民の健康と福祉の増進に寄与する医師となることを目指す意思の有無も評価の基準とします。 (3) 佐賀県からの推薦書等 単に学業成績優秀というのみでなく、規則的な生活習慣を保ち、学習意欲、積極性や協調性に富んでいるかを、佐賀県からの推薦書及び添付書類を参考に評価します。 (4) 合否判定基準 佐賀県からの推薦書等、小論文、面接、大学入学共通テストの成績を総合的に判断して、合格者を決定します。 なお、大学入学共通テストの成績が本学部の基準を満たしていない場合、あるいは面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。	英語 リスニング リーディング	ドイツ語 リスニング	フランス語	中国語	韓国語	1
			2次	佐賀県からの推薦書		160					

【表の見方】

- ◎は必須教科の必須科目、○は必須教科の選択科目。
- 大学入学共通テストでは「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は必ず2科目セットでの選択が必要。この場合の科目数は2つ合わせて「1科目」として扱う。
- 大学入学共通テストの理科における受験パターンをA～Dで表示。Aは基礎2科目、Bは基礎2科目又は専門1科目、Cは基礎2科目及び専門1科目、Dは専門2科目。
- 大学入学共通テスト外国語の英語はリスニングの受験が必須です。
- 大学入学共通テストを利用する場合、必要な教科・科目のうち一つでも受験しなかった者は失格となる。

大学入学共通テスト																				書類審査 (調査書等)	小論文	面接	合計点	その他要件等							
国語		数学				地理歴史・公民						理科						教科 科目数													
国語	国語	数学Ⅰ	数学Ⅱ	簿・情 科目数	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治経済	倫理・政経 科目数	基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎						専門	物理	化学	生物	地学	科目数	満点
◎		◎		○	○										1						◎	◎			2	5・7	◎	◎	◎	1,240	<ul style="list-style-type: none"> 調査書の「4. 学習成績概評」欄に④と標示する場合は、「8. 備考」欄にその理由を必ず明記 入学志願者が募集人員の約5倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には、書類(調査書、推薦書等)による第1次選考を行う場合がある 推薦人数は各高校2人以内
160		160		2											80						◎	◎			2	720	280	120	120		
一般枠と同じ																										<ul style="list-style-type: none"> 調査書の「4. 学習成績概評」欄に④と標示する場合は、「8. 備考」欄にその理由を必ず明記 保護者とは、子に対して親権を行う者、親権を行う者のないときは、未成年者後見人をいう。(本学における保護者の定義は学校教育法から引用) 入学志願者が募集人員の約5倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には、書類(調査書、推薦書等(学校長推薦書))による第1次選考を行う場合がある 					
一般枠と同じ																										<ul style="list-style-type: none"> 調査書の「4. 学習成績概評」欄に④と標示する場合は、「8. 備考」欄にその理由を必ず明記 入学志願者が募集人員の約10倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には、書類(調査書、推薦書等(学校長推薦書))による第1次選考を行う場合がある 長崎県医学修学資金については長崎県福祉保健部医療人材対策室に問い合わせ 					

大学入学共通テスト																				書類審査 (調査書等)	小論文	面接	合計点	その他要件等							
国語		数学				地理歴史・公民						理科						教科 科目数													
国語	国語	数学Ⅰ	数学Ⅱ	簿・情 科目数	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治経済	倫理・政経 科目数	基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎						専門	物理	化学	生物	地学	科目数	満点
◎		◎		○											1						◎	◎			2	5・7	◎	◎	◎	1,240	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀県在住者だけでなく、日本国内の居住者を対象とする 第1次選考については佐賀県健康福祉部医務課医療人材政策室に問い合わせ
160		160		2											80						◎	◎			2	720	260	120	140		
一般枠と同じ																										<ul style="list-style-type: none"> 佐賀県が行う第1次選考を経て、佐賀県の推薦により佐賀大学医学部による第2次選考を受験する資格を得た者 					

4 2022年度特別入試（総合型選抜Ⅰ）出願資格・選抜方法〔教育，芸術〕

学部	学科・コース等	方式	募集人員	共テ	出願資格および出願要件	提出書類	試験					
							試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日		
教育学部	学校教育課程 小中連携教育コース 初等教育主免専攻	総合型選抜Ⅰ	10	×	(1) 次のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2020年4月以降に卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2020年4月以降に修了した者及び2022年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2020年4月以降にこれに該当する者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 英語、理数、音楽、体育、家庭のいずれかの分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識と技能が特に優れている者 (3) 入学後、初等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、小学校等の教員になることを強く志望する者 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志願理由書、 活動実績報告書	小論文、面接（口頭試験を含む）、 志望分野に関する適性検査	11/1 ～11/5	11/26	音楽分野は 11/26、27	12/6	
	学校教育課程 小中連携教育コース 中等教育主免専攻				8							(1) 次のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2020年4月以降に卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2020年4月以降に修了した者及び2022年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2020年4月以降にこれに該当する者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 英語、理数、音楽、保健体育、家庭、技術のいずれかの分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識と技能が特に優れている者 (3) 入学後、中等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、中学校等の教員になることを強く志望する者 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 美術・工芸分野	総合型選抜Ⅰ	5	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2022年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2022年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2021年4月以降にこれに該当する者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 芸術表現コースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志願理由書、 ポートフォリオ	志望分野に関する適性検査、面接		10/16			
	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 有田セラミック分野				5							(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2022年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 地域デザインコースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者
	芸術地域デザイン学科 地域デザインコース				15							(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2022年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 地域デザインコースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者

※「共テ」とは大学入学共通テストを示す。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 調査書・志願理由書の評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「学習成績の状況」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および本コースの「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 志願理由書では、出願資格および出願要件の(2)(3)および本コースのアドミッション・ポリシーを踏まえた内容になっているかを確認します。</p> <p>(2) 活動実績報告書の評価基準 志望分野に関するこれまでの活動実績（研究活動等の実績、外部の英語検定試験の成績、留学経験、大会・コンクール等の実績）を評価します。</p> <p>(3) 小論文の評価基準 学校教育に関する資料を提示してそれについて論述式の試験を行うことにより、文章理解力、資料の内容に関する知識、論理的な思考力、文章構成力、表現力を評価します。</p> <p>(4) 面接の評価基準 志望動機、専門領域に関する知識や理解、修学意欲、積極性、コミュニケーション能力等を評価し、将来小学校等の教員になるための適性を備えているかを判断します。</p> <p>(5) 適性検査の評価基準 志望する分野の適性及び基礎能力を評価します。</p> <p>(6) 合否判定基準 書類（調査書、志願理由書）、小論文、面接及び適性検査（活動実績報告書の評価を含む）の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適性検査内容 英語分野：筆記試験とタブレット端末を用いた試験により、英語4技能を総合的に測定 理数分野：理科分野または数学分野に関する研究内容をまとめた資料（持参）をもとに発表及び質疑応答 音楽分野：専攻楽器（または声楽）の個別レッスン2回、ソルフェージュの個別レッスン1回 体育分野：基礎運動能力（背筋力、反復横とび、ジャンプ力、ソフトボール投げ） 家庭分野：与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 <p>・入学志願者が多く、適性検査を適切に行うことが困難な場合は、書類（調査書、志願理由書及び活動実績報告書）により、第1次選考を行う</p>
<p>(1) 調査書・志願理由書の評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「学習成績の状況」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および本コースの「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 志願理由書では、出願資格および出願要件の(2)(3)および本コースのアドミッション・ポリシーを踏まえた内容になっているかを確認します。</p> <p>(2) 活動実績報告書の評価基準 志望分野に関するこれまでの活動実績（研究活動等の実績、外部の英語検定試験の成績、留学経験、大会・コンクール等の実績）を評価します。</p> <p>(3) 小論文の評価基準 学校教育に関する資料を提示してそれについて論述式の試験を行うことにより、文章理解力、資料の内容に関する知識、論理的な思考力、文章構成力、表現力を評価します。</p> <p>(4) 面接の評価基準 志望動機、専門領域に関する知識や理解、修学意欲、積極性、コミュニケーション能力等を評価し、将来中学校等の教員になるための適性を備えているかを判断します。</p> <p>(5) 適性検査の評価基準 志望する分野の適性及び基礎能力を評価します。</p> <p>(6) 合否判定基準 書類（調査書、志願理由書）、小論文、面接及び適性検査（活動実績報告書の評価を含む）の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適性検査内容 英語分野：筆記試験とタブレット端末を用いた試験により、英語4技能を総合的に測定 理数分野：理科分野または数学分野に関する研究内容をまとめた資料（持参）をもとに発表及び質疑応答 音楽分野：専攻楽器（または声楽）の個別レッスン2回、ソルフェージュの個別レッスン1回 保健体育分野：基礎運動能力（背筋力、反復横とび、ジャンプ力、ソフトボール投げから2）及び学校体育教材（バスケットボール、サッカー、バレーボールから2）における運動技能 家庭分野：与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 技術分野：与えられたテーマについてレゴブロックを用いて作品をつくり、プレゼンテーション及び質疑応答 <p>・入学志願者が多く、適性検査を適切に行うことが困難な場合は、書類（調査書、志願理由書及び活動実績報告書）により、第1次選考を行う</p>
<p>(1) 調査書、志願理由書、ポートフォリオ（※）の採点・評価基準 調査書では「各教科、科目等の学習の記録」「学習成績の状況」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。 また、志願理由書とポートフォリオでは、活動実績と芸術表現に対する意欲を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。 ※ポートフォリオは活動実績や作品などをA4用紙で5ページ以内のファイルにまとめて提出してください。</p> <p>(2) 面接の評価基準 熱意、修学意欲、積極性、主体性、発想力等を総合的に評価します。</p> <p>(3) 適性検査の採点・評価基準 教科・科目から判断される基礎学力とは異なる主体性や分析力、行動力及び考察力を重視した多面的・総合的な採点、評価を行います。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、志願理由書及びポートフォリオ）、適性検査及び面接の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適性検査内容 模擬授業を受講後に作品制作を行います。 <p>・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類（調査書、志願理由書及びポートフォリオ）による第1次選考を行う場合がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適性検査内容 模擬授業を受講後に作品制作を行います。 <p>・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類（調査書、志願理由書及びポートフォリオ）による第1次選考を行う場合がある</p>
<p>(1) 調査書・志願理由書の評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「学習成績の状況」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および本コースの「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 志願理由書では、本コースのアドミッション・ポリシーを踏まえた内容になっているかを確認します。</p> <p>(2) 活動実績報告書（加点的）の採点・評価基準（申請者のみ） 本コースのアドミッション・ポリシーに応じて、これまでの活動・実績を評価します。</p> <p>(3) 面接の評価基準 熱意、修学意欲、積極性、主体性等を総合的に評価します。</p> <p>(4) 小論文の採点基準 読解力、論理的思考力、分析力、考察力、企画力、発想力、表現力等を総合的に判断します。</p> <p>(5) 適性検査の採点・評価基準 コミュニケーション能力、論理性、表現力等を総合的に評価します。</p> <p>(6) 合否判定基準 書類（調査書、志願理由書、活動実績報告書（加点的）〈申請者のみ〉）、小論文、適性検査及び面接の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適性検査内容 与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 <p>・活動実績報告書（加点的）について 申請する活動・実績は、高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や実績であれば何でも構いません。地域デザインコースの学びを理解し、入学後に何を生かせるかなどをしっかりと考えた上で積極的にアピールしてください。申請内容を補完する根拠となる資料等も重要です。アドミッション・ポリシーで示す「地域社会が抱える問題に関心があり、芸術を通じて地域社会を機能的に繋げていける企画力、発想力、表現力」、「主体的なものごとに取り組むことができる積極的な行動力」、「高等学校入学以降の主体的な実績・活動」について総合的に評価します。活動・実績の具体例として、地域創生などに関わる主体的な活動、課外活動（部活動や生徒会活動など）における実績や取り組み、研究活動（高大連携活動〈SSH、SGH等を含む〉、総合的学習等での活動実績）、資格・検定試験など外部試験等の実績、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。</p> <p>・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類（調査書、志願理由書及び活動実績報告書（加点的）〈申請者のみ〉）による第1次選考を行う場合がある</p> <p>申請がなければ当初配点で合否判定を行います。</p>

2022年度特別入試（総合型選抜Ⅰ）出願資格・選抜方法〔理工，農〕

学部	学科	コース等	方式	募集人員	共テ	出願資格および出願要件	提出書類	試験			
								試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
理工学部	理工学科	数理分野 数理サイエンスコース		5	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2020年4月以降に卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2020年4月以降に修了した者及び2022年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2020年4月以降にこれに該当する者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 志望分野への志望動機が明確で入学後も学習に対し意欲的に取り組む者 (3) 以下に指定している科目を履修している者 数理分野・・・数学Ⅲ 化学分野・・・数学Ⅲ、化学 その他の分野・・・数学Ⅲ、物理 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	適性検査、 面接（口頭 試問を含む）	11/1 ～11/5	理工学部：11/27 農学部：11/26	12/6
		情報分野 知能情報システム工学コース 情報ネットワーク工学コース	8								
		化学分野 生命化学コース 応用化学コース	5								
		物理学分野 物理学コース	7								
		機械工学分野 機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース	10								
		電気電子工学分野 電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース	5								
		都市工学分野 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース	4								
		総合型選抜Ⅰ									
農学部	生物資源科学科	国際・地域マネジメント コース		5	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2020年4月以降に卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2020年4月以降に修了した者及び2022年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2020年4月以降にこれに該当する者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 国際・地域マネジメントコースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	適性検査、 面接			

※「共テ」とは大学入学共通テストを示す。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「学習成績の状況」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および理工学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。志望理由書では、「本分野で学びたいという強い意欲」について評価します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容について、「専門分野に対する強い興味・関心」、「主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の3つの観点から総合的に評価します。調査書、志望理由書および活動実績報告書のそれぞれの評価を考慮しながら、総合的に評価したものを書類審査の得点とします。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望分野に対する意欲等について評価します。</p> <p>(3) 適性検査の採点・評価基準 志望する分野の適性及び基礎能力を評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、志望理由書及び活動実績報告書等）、面接及び適性検査の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・適性検査の内容</p> <p>数理分野：数学の知識を活用した問題を出題することにより、知識のみならず論理プロセスも重視した数学に対する適性を評価します（ペーパーテストで実施）。出題範囲は、数学ⅠA、数学ⅡB、数学Ⅲとします。数学Bは「数列」、「ベクトル」から出題します。</p> <p>情報分野：問題文や資料等から処理手順を読み取り、そのアルゴリズムを示すことができるかについての論理的思考力を評価します（出題する内容に応じて、ペーパーテストまたは口頭試問により実施）。入学志願者が募集人員の約2.5倍を超えた場合は、書類（調査書、志望理由書、活動実績報告書）による第1次選考を行う場合があります。</p> <p>化学分野：化学実験などに関する動画や資料（写真や図表など）を題材に、知識のみならず論理プロセスも重視した化学や科学的思考力に対する適性を評価します（タブレット端末で問題を提示し、解答用紙に解答）。</p> <p>物理学分野：物理や数学の知識を活用した問題を出題することにより、知識のみならず論理プロセスも重視した物理に対する適性を評価します（ペーパーテストで実施）。</p> <p>機械工学分野：機械工学に関連した事項を題材とした問題を出題することにより、高等学校で学ぶ知識のみならず問題解決能力や論理的思考力を重視した機械工学に対する適性を評価します（ペーパーテストで実施）。</p> <p>電気電子工学分野：電気及び力学に関する物理の問題を出題することにより、知識のみならず論理的思考力も重視した上で、電気電子工学に対する適性を評価します（ペーパーテストで実施）。</p> <p>都市工学分野：数学（数ⅡB（確率と統計・ベクトル・数列）・数Ⅲ（微分・積分））と物理（力学・熱力学・エネルギー・波動）に関する融合問題により、知識のみならず論理的思考も重視した数学と物理の素養を評価します（ペーパーテストで実施）。</p>
<p>(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「学習成績の状況」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および生物資源科学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。志望理由書では、「本コースで学びたいという強い意欲」について評価します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容について、「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。調査書、志望理由書および活動実績報告書のそれぞれの評価を考慮しながら、総合的に評価したものを書類審査の得点とします。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望コースに対する意欲等について評価します。</p> <p>(3) 適性検査の採点・評価基準 志望するコースの適性及び基礎能力を評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、志望理由書及び活動実績報告書等）、面接及び適性検査の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・適性検査内容</p> <p>提示した課題や資料等（図表や動画を含む）を題材として、高等学校等で学ぶ基本的な統計処理や、食料・農業・環境・健康問題などに関する時事的な話題を含む基礎知識を前提に、分析力、判断力、論理的思考力、コミュニケーション力（発信力）、想像力の観点から、学習する力（適性）を総合的に評価します。課題や資料等の提示はタブレット端末を用いて行い、解答は解答紙への筆記や口頭（集団討論形式の場合もあり）で行います。</p> <p>・入学志願者が募集人員の約3倍を超えた場合に、調査書、志望理由書、活動実績報告書による第1次選考を行う場合があります。</p>

5 2022年度特別入試（総合型選抜Ⅱ）出願資格・選抜方法〔理工，農〕

学部・学科等		方式	募集人員	出願資格および出願要件	提出書類	評価基準
理工学部 理工学科	数理分野 数理サイエンスコース	総合型選抜Ⅱ	2	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2020年4月以降に卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2020年4月以降に修了した者及び2022年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2020年4月以降にこれに該当する者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 志望分野への志望動機が明確で入学後も学習に対し意欲的に取り組む者 (3) 以下に指定している科目を履修している者 数理分野……数学Ⅲ 化学分野……数学Ⅲ、化学 その他の分野……数学Ⅲ、物理 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、志望理由書、活動実績報告書	(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「学習成績の状況」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および理工学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。志望理由書では、「本分野で学びたいという強い意欲」について評価します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容について、「専門分野に対する強い興味・関心」、「主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の3つの観点から総合的に評価します。 調査書、志望理由書および活動実績報告書のそれぞれの評価を考慮しながら、総合的に評価したものを書類審査の得点とします。 (2) 合否判定基準 大学入学共通テストの成績及び書類（調査書、志望理由書及び活動実績報告書等）を総合して、合格者を決定します。
	情報分野 知能情報システム工学コース 情報ネットワーク工学コース		7			
	化学分野 生命化学コース 応用化学コース		15			
	物理学分野 物理学コース		3			
	機械工学分野 機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース		10			
	電気電子工学分野 電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース		12			
都市工学分野 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース	12					
農学部 生物資源科学科	生物科学コース	総合型選抜Ⅱ	10	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2020年4月以降に卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2020年4月以降に修了した者及び2022年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2020年4月以降にこれに該当する者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 各コースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、志望理由書、活動実績報告書	(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「学習成績の状況」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および生物資源科学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。志望理由書では、「本コースで学びたいという強い意欲」について評価します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容について、「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。 調査書、志望理由書および活動実績報告書のそれぞれの評価を考慮しながら、総合的に評価したものを書類審査の得点とします。 (2) 合否判定基準 大学入学共通テストの成績及び書類（調査書、志望理由書及び活動実績報告書等）を総合して、合格者を決定します。
	食資源環境科学コース		5			
	生命機能科学コース		10			

【表の見方】

- ①◎は必須教科の必須科目，○は必須教科の選択科目。
- ②大学入学共通テストでは「物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎」は必ず2科目セットでの選択が必要。この場合の科目数は2つ合わせて「1科目」として扱う。
- ③大学入学共通テストの理科における受験パターンをA～Dで表示。Aは基礎2科目，Bは基礎2科目又は専門1科目，Cは基礎2科目及び専門1科目，Dは専門2科目。
- ④大学入学共通テスト外国語の英語はリスニングの受験が必須です。
- ⑤学部学科等が「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」から2科目と指定する場合に「物理」と「物理基礎」など、同一名称を付した科目を選択することはできません。

6 2022年度特別入試（帰国子女，社会人）出願資格・選抜方法〔医，理工，農〕

学部	学科	方式	募集人員	共テ	出願資格および出願要件	提出書類	試験						
							試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日			
医学部	医学科	帰国子女	若干人	×	日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者であって、外国の学校教育を受けた者のうち、保護者とともに2年以上継続して外国に在留し、次のいずれかに該当する者とします。 ただし、2020年3月31日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く）した者及び保護者が帰国した後、本人が帰国するまでの期間が2年以上経過した者は、出願を認めません。 (1) 学校教育における12年の課程を2020年4月1日から2022年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者 ただし、外国に設置された学校等であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しません。 (2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレアの資格証書を2020年又は2021年に授与された者。 (3) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2020年又は2021年に授与された者。 (4) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を2020年又は2021年に授与された者。 (5) 英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格を取得した者。 (6) 国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から認定を受けた外国に所在する教育施設において、12年の課程を修了した者。	証明書類	学力検査（数学・理科・外国語）、面接	11/1 ～11/5	2/25 ～2/26	3/9			
					理工学部	理工学科	若干人	×	日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者であって、外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者とします。 (1) 学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を外国又は日本において、2020年4月1日から2022年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、卒業（修了）時点から起算して過去4年間の内、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者 ただし、外国に設置された学校等であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しません。 (2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレアの資格証書を2020年又は2021年に授与された者。 (3) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2020年又は2021年に授与された者。 (4) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を2020年又は2021年に授与された者。 (5) 英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格を取得した者。 (6) 国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から認定を受けた外国に所在する教育施設において、12年の課程を修了した者。	証明書類	小論文、面接（口頭試問を含む）	11/26	12/6
									農学部	生物資源科学科	若干人	×	2022年4月1日現在、年齢が満21歳以上であり、社会人として3年以上の経験を有し、看護学を修め、卒業後看護の分野で就業する意思のある者で、次のいずれかに該当する者とします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」と言う）を卒業した者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 注）社会人の期間には、パートやアルバイトの就業期間及び学校等（予備校、大学、専修学校高等課程・専門課程）の在学期間は含まない

※「共テ」とは大学入学共通テストを示す。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 学力検査の教科名・科目名等 数学 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注) 理科 物基・物、化基・化 外国語 コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ (注) 数学は、数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Aは全範囲から出題します。数Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。</p> <p>(3) 合否判定基準 学力検査、面接、提出書類を総合して最終的な合格者を決定します。 なお、面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。</p>	
<p>(1) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、解釈力、論理的思考力、表現力及び記述力等を見ます。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 必要な基礎知識、自己の目標、志望学科に対する意欲を問います。</p> <p>(3) 合否判定基準 書類(成績証明書等)、小論文及び面接等の結果を資料として判定の上、合格者を決定します。</p>	
<p>(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 これまでの社会人としての経験を生かした、看護学科志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通じて評価し、将来優れた看護職者になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。 なお、志願理由書及び調査書は面接にあたって参考にします。</p> <p>(3) 合否判定基準 小論文及び面接の結果を総合して、合格者を決定します。 小論文及び面接の配点 小論文200点、面接60点(総得点260点)</p>	

7 特別入試（学校推薦型選抜Ⅰ，総合型選抜Ⅰ）の配点について

学校推薦型選抜Ⅰ

学部, 学科・課程等名		区分		書類審査 (調査書, 推薦書等)	小論文	面接	実技検査	その他	大学入学 共通テスト	総合得点 (総合評価)	活動 実績 報告書 (加点式)
		書類審査 (調査書, 推薦書等)	小論文								
教育学部	学校教育課程	幼小連携教育コース 特別支援教育専攻		50	150	150		50 (注1)		400	
		小中連携教育コース 初等教育主専攻 [佐賀県枠]		50	100	150		200 (注1)		500	
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 有田セラミック分野			300		200	300			800	
経済学部	経済学科	商業系の科・ 情報系の科・ 総合学科推薦	2段階評価 (合, 否)	100	2段階評価 (合, 否) (注2)			20 (注3)		2段階評価 (合, 否) (注4)	40
	経営学科										20
	全学科	普通科又はこれに準ずると 本学部が認める科推薦									20
医学部	看護学科			150	200	150				500	
理工学部	理工学科	知能情報システム工学コース	3段階評価	3段階評価	4段階評価			3段階評価 (注3)		5段階評価	
		情報ネットワーク工学コース									
		生命化学コース									
		応用化学コース									
		機械エネルギー工学コース									
		メカニカルデザインコース									
電気エネルギー工学コース											
電子デバイス工学コース											
都市基盤工学コース											
建築環境デザインコース											
農学部	生物資源科学科	生物科学コース		100	100	100		200 (注3)		500	
		食資源環境科学コース		100	200	200		100 (注3)		600	
		生命機能科学コース		150	200	200		50 (注3)		600	

(注1) 基礎学力試験

(注2) 2022年度は面接をペーパーインタビューによって代替することがあります。

(注3) 基礎学力・学習力テスト

(注4) 活動実績報告書(加点式)の得点を加味して評価します。

総合型選抜 I

学部, 学科・課程等名			区分	書類審査 (調査書, 志願理由書等)	小論文	面接	適性検査	大学入学 共通テスト	総合得点 (総合評価)	活動実績 報告書 (加点式)
教育学部	学校教育課程	小中連携教育コース	初等教育主免専攻	100	100	150	200 (注1)	/	550	/
			中等教育主免専攻							
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	美術・工芸分野	200	/	200 (注2)	400	/	800	/
			有田セラミック分野							
			地域デザインコース	2段階評価 合, 否	300	200	500 (注3)	/	1000	100
理工学部理工学科	数理サイエンスコース		3段階評価	/	/	4段階評価	5段階評価	/	5段階評価	/
	知能情報システム工学コース 情報ネットワーク工学コース									
	生命化学コース 応用化学コース									
	物理学コース									
	機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース									
	電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース									
	都市基盤工学コース 建築環境デザインコース									
農学部 生物資源科学科 国際・地域マネジメントコース			2段階評価 合, 否	/	200	300	/	500	/	

(注1) 適性検査の評価に活動実績報告書の評価も含まれます。

(注2) 面接は適性検査に関する質疑応答を含みます。

(注3) プレゼンテーション資料作成の評価を300点, プレゼンテーション及び質疑応答の評価を200点とします。